

## ウジミナス社 新株主間協定の締結について

新日本製鐵株式会社（社長：宗岡正二、以下「当社」）は、2月18日、ウジミナス社（社長：ウィルソン・ブルーメル）の主要株主である、ヴォトランチン社・カマルゴ社・日本ウジミナス社（当社子会社）・三菱商事・メタルワンとの間で、ウジミナス社に関する新株主間協定を締結いたしました。

ウジミナス社では、現行の株主間協定（以下「現協定」、2006年11月締結）に参加する協定株主が、議決権株式の63.9%を保有しており、現協定株主は、①当社・日本ウジミナス社・三菱商事・メタルワンから構成される日本グループ、②ブラジルの大企業グループであるヴォトランチン社・カマルゴ社から構成されるV/Cグループ、③ウジミナス社従業員年金基金、で構成されております。

日本グループ、ヴォトランチン社、およびカマルゴ社は、ウジミナス社の持続的な成長・発展に向け支配株主の結束をより強固なものとするべく協議してまいりましたが、今般、各社の機関決定取得を条件として、①ウジミナス社従業員年金基金に対して、現協定を2016年11月に早期終了する予定であることを通知すると共に、②新株主間協定を締結しました。新株主間協定は、現協定の終了後直ちに発効し、2031年11月まで効力を有します（その後5年毎の延長条項付き）。

ウジミナス社では、2010年に高級厚板製造設備が稼働し、本年は当社と同社の自動車用溶融亜鉛メッキ鋼板製造合弁会社であるユニガル社の第2メッキ鋼板設備、新連続熱延設備等が稼働予定となっており、ブラジルを中心とした伸張著しい南米地域の鋼材需要を捕捉する所存です。更に、ウジミナス社は、鉄鉱石事業拡張計画および製鉄所最適化計画を立案中ですが、本計画の実行を通じ、競争力の更なる向上と能力拡張を推進してまいります。

当社はウジミナス社の創業以来、同社の経営に協力し、当社技術の供与を行ってまいりましたが、今後とも当社は、新協定のもとで、ウジミナス社を支援し、当社・ウジミナス社両社の企業価値の一層の向上を図っていく所存です。

### 2. 協定株主の出資比率・構成

		現協定（～2016年11月）		新協定（2016年11月～）	
		議決権内	協定内	議決権内	協定内
	当社・日本ウジミナス社	26.1%	40.9%	26.1%	48.6%
	三菱商事・メタルワン	1.6%	2.5%	1.6%	3.0%
日本グループ計		27.8%	43.5%	27.8%	51.7%
	ヴォトランチン社	13.0%	20.3%	13.0%	24.2%
	カマルゴ社	13.0%	20.3%	13.0%	24.2%
V/Cグループ計		26.0%	40.7%	26.0%	48.3%
ウジミナス社年金基金		10.1%	15.9%	協定外	-
協定株主計		63.9%	100.0%	53.7%	100.0%

\*各株主の出資比率の和は、小数点第一位で四捨五入して表示しているため、合計の数値とは一致しません。

\*株主間協定：ブラジルでは、上場会社の議決権の過半を有する株主が会社の意思決定、株式譲渡等につき協定を締結することができ、ブラジル証券取引所にも登録される。ウジミナス社の協定株主は、議決権株式の過半数を確保した上で、株主総会・経営審議会（日本の取締役会に相当）において議決権を統一的に行使することを取り決めており、協定株主間の合意は、会社の意思決定事項となる。

（お問い合わせ先）総務部広報センター TEL：03-6867-2135, 2146, 2147

以 上

【参考：ウジミナス社 会社概要】

1. 英文名称：Usinas Siderúrgicas de Minas Gerais S.A. - Usiminas 略称「USIMINAS」
2. 事業内容：南米地域を中心とした鉄鋼製品の製造販売
3. 所在地：本社 ブラジル ミナスジェライス州 ベロホリゾンテ市  
製鉄所 ミナスジェライス州 イパチンガ市  
サンパウロ州 クバトン市
4. 社長：ウィルソン・ブルーメル
5. 資本金：12,150 百万リアル
6. 売上：9,870 百万リアル（2010年1-9月実績・連結）
7. 税後利益：1,171 百万リアル（2010年1-9月実績・連結）
8. 生産規模：粗鋼生産 571 万トン（2010年1-9月実績）
9. 生産開始：1962年10月（設立1958年1月）

【ウジミナス社発表（要旨）】

ウジミナス社は、2月18日、新日本製鐵・日本ウジミナス・三菱商事・メタルワン、ヴォトランチン社、およびカマルゴ社（以下、「通知協定株主」）より、以下の内容の通知を受けましたので、お知らせ致します。

- 1) 通知協定株主は、2016年に現協定が早期終了する可能性があることを考慮しつつ、ウジミナス社の持続的な成長・発展に向け支配株主の結束をより強固なものとするべく協議してまいりました。
- 2) その結果、2月18日、通知協定株主は、各社の機関決定取得を条件として、
  - ①ウジミナス社従業員年金基金に対して、現協定を2016年11月に早期終了する予定であることを通知すると共に、
  - ②現協定の終了後直ちに発効する新株主間協定を締結いたしました。なお、新協定は、2031年まで効力を有します（その後5年毎の延長条項付き）。

ウジミナス社としては、現協定の主要支配株主である通知協定株主が、今後も引き続き、現行と同じ出資比率で新協定の当事者となることから、支配権の譲渡や現行の支配構造の大きな変化はないものと認識しております。